

# 無足場工法による 外裝修繕工事

東京外装メンテナンス協同組合 (TEC)  
理事 茂木 健一

## vol. 9 シーリングの補修方法

前号で、シーリングについての概要と、その劣化状況によって漏水事象が発生すること、また、外壁調査で不具合事象を発見、是正工事に繋げてきたことをお伝えしました。

今回は、その補修方法とロープ作業での施工についてご紹介します。

### 基本的な施工手順はシンプル

前回の復習になりますが、窓ガラスの周囲や、壁と壁のつなぎ目など、建物の隙間をふさぐことのできるシーリングですが、そのシール材には寿命があります。6年以上経過すると劣化が始まり、「ひび割れ」「硬化」「硬化不良」といった現象が生じます。

(写真1) シール材の劣化現象



ひび割れ



硬化不良



硬化

それらの不具合を補修する際の施工手順は、次のようになります。

### 《シーリング》の補修方法 (写真2)

- (1) 不具合のあるシーリング箇所を取り除く (写真②)
- (2) シーリング充填時に外壁やパネル等の外壁材にシーリングが融着しないよう、マスキングテープで養生する (写真③)
- (3) シーリング充填部位の中をブラシ等で清掃後、プライマー塗布 (写真④)
- (4) シーリング剤を専用ガンで充填する (写真⑤)
- (5) 充填後、シーリングをヘラやコテを使用し均等に均す (写真⑥)
- (6) 硬化するのを待つ

### 硬化したシーリングは除去が困難

作業自体は単純ですが、既存のシーリングを取り除く作業は最も苦勞を要します。

接着剤で貼りついているシーリングを取り除くため、目地の端にカッターで切れ目を入れて剥がしていきます。

「ひび割れ」の場合はさほど問題なく剥がすことができますが、「硬化」の場合はシーリングの粘着力が強く、なかなかきれいに剥がれず、目地の中に溜まった剥がし残しを取り除くのに、困難を極めます。シーリングが外壁の溝に接着されている状態なので、取り除くには強い力で引っ張る必要があります。

(写真2) シーリングの補修方法〔補修箇所：2つの窓枠の間、縦に施されたシーリング部分〕



この工程をロープ作業で行う場合、タイル補修時と同様に安定性が悪く、力を入れにくいことが問題となり、平場施工時よりも作業効率が悪くなります。

その問題を解決するために、以前にもお伝えしたように吸盤を使用して安定性を確保するだけでなく、2人1組で作業を行います。安定性が悪くても2人分の力で引っ張るとシーリングが剥がしやすくなり、1人が作業、もう1人が作業補助を担当して2人のコンビネーションで、作業効率が格段に上がりました。仮設足場の作業より施工時間はかかるものの、仮設ゴンドラを使用した場合と同等の時間でシーリングの施工ができるようになりました。

### 需要・実績の多い、主軸の補修工事

施工を始めた当初は、お客様から「ロープでの作業は信用できない」というお言葉をいただいたり、こちらの施工技術が未熟でシーリングをヘラやコテで均すのがうまくいかず、いびつな形状になりお客様からクレームをいただき、やり直しの作業を行うことも多々ありました。

また、硬化剤が少なく、表面は固まっても、中が固まらず防水効果が望めない状態になってしまったり、逆に硬化剤が多すぎて、中が接着せず剥がれやすい状態になってしまったり……と、硬化剤の調合に苦戦することもありました。

失敗を活かし、施工実績を積むことで、現在では平場作業と同等の品質でシーリング補修の施工を提供できるようになりました。また、シーリング技術の信頼を得られるよう、シーリング管理士の資格を持つ者が作業を行っています。シーリング管理士は、シーリング工事の施工管理および技術指導を行える工事業者として認められた者に与えられる資格で、日本シーリング材工業会・日本シーリング工事業協同組合連合会が認可しているものです。

シーリング補修は当組合で最も需要が多く、施工機会や実績も多い、無足場での外壁補修工事となっています。当組合はこれを強みとし、今後の展開の主軸に置いています。施工人員を増やし、大規模修繕に対応できる組合を目指して精進してまいります。

次回は、特殊な場所のシーリング補修についてご紹介する予定です。ご期待ください！

外装メンテはプロにご相談ください！

東京外装メンテナンス協同組合 (TEC)      ●<http://garakuri.com/>      ●TEL.03-5817-6977